



## 2学期締めくくりの12月（師走）

校門横の銀杏の木は、黄色く色づいたと思えば落ち葉も多くなってきました。校長室から見える紅葉（もみじ）も一気に紅葉してきました。5年生の出前授業【脱炭素・カーボンニュートラル】の中で、日本には四季がありました、近年は二季と言われるようになってきました。この「二季」という言葉は、2025年の新語・流行語大賞にノミネートされました。日本の魅力である四季が、春や秋が短くなる二季に変わりつつあることを、多くの人が不安に感じており、この言葉が言われ始めたということです。

服装について振り返ってみると、5月には半袖で過ごすことができ、それが10月頃まで続きました。この期間は1年の半分にあたります。11月に入ると気候も大きく変わり、すでに防寒着も必要になってきます。

この二季が一過性のもので、元の「日本には四季がある」と呼べるような季節感に戻ってくれればと思います。そのために自分たちに出来ることは何だろうか。地球温暖化がその要因であるのは確かです。では、温暖化を遅らせるには何が出来るでしょうか。地球規模のことを自分一人がやったからといって何も変わらないと思ってしまいかせません。でも、何もしなければ何も始まらない。

20年前に出版された、「ハチドリの一とすく：いま、私にできること」（光文社）の本のことを思い出しました。図書館などで、みつけたら手に取って読んでほしいなと思います。私も久しぶりに家の本棚からこの本を取り出し読んでみました。ちいさな力の大切さを教えてくれる、南米アンデス地方の古くてあたらしいお話です。

さて本校では、11月の1ヶ月間を学校開放と位置づけ、学校・子どもたちの様子を参観いただきました。年に数回実施する授業参観には、たくさんの保護者のみなさんに参観いただいておりますが、人数も多くなかなかじっくり参観いただけない状況にあります。学校開放での参観はいかがでしたでしょうか。

本校のスクールプランの【つなぎあい】に、「行事等で人が来校する機会の促進」をあげています。開かれた学校とよく言われますが、なかなか学校は敷居が高いという声を聞いたりもします。そんな中、この学校開放期間を利用して、〇〇の授業を参

観に来られたや、おじいさん・おばあさんと一緒に来られたりと、通常の授業参観と異なった学校や子どもたちの様子を観ていただく機会になったと、うれしいお声も聞かせていただきました。

子どもたちの授業の様子等は、毎週末学校のホームページに「山崎小学校の1週間」として掲載していますので、そちらもご覧ください。

これからも「あい」のある学校をめざし取り組んでいきますので、ご理解ご協力よろしくをお願いします。

### 「あい」のある学校の風景



【認知症サポーター・5年】



【研究授業・1年】



【手話教室・5年】



【1・2年おもちゃランド】



【脱炭素出前授業・5年】



【1・2年国語の時間交流】



【校内マラソン大会】



【3・6年交流活動】



【いのちの授業・2年】



【おもちゃランド・3年】



【命の授業・6年】



【校門のパンジー・ビオラ】